

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2002-75917(P2002-75917A)

【公開日】平成14年3月15日(2002.3.15)

【出願番号】特願2000-256136(P2000-256136)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/301 (2006.01)

B 2 3 P 17/00 (2006.01)

H 0 1 L 21/02 (2006.01)

H 0 1 L 27/12 (2006.01)

H 0 1 L 21/76 (2006.01)

H 0 1 L 21/762 (2006.01)

H 0 1 L 21/336 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/78 A

B 2 3 P 17/00 A

H 0 1 L 21/02 B

H 0 1 L 27/12 B

H 0 1 L 27/12 H

H 0 1 L 21/76 R

H 0 1 L 21/76 D

H 0 1 L 21/76 P

H 0 1 L 29/78 6 2 7 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月25日(2006.4.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 流体により試料を分離する分離装置であって、
内部に分離層を有する試料を保持する保持部と、
前記保持部を回転させることにより、前記分離層に直交する軸を中心として前記試料を
回転させる回転駆動部と、
前記保持部によって保持された試料の分離層に向けて流体を噴射するノズルと、
流体を前記ノズルに供給する流体供給部と、
を備え、前記流体供給部は、分離処理の間、前記ノズルに供給する流体の圧力変動を目
標圧力に対して±10%以内に抑えることを特徴とする分離装置。

【請求項2】 前記流体供給部は、サーボ駆動式ポンプを含み、該サーボ駆動式ポンプよ
り前記ノズルに流体を供給することを特徴とする請求項1に記載の分離装置。

【請求項3】 前記ノズルから噴射される流体が前記試料に打ち込まれる位置を分離処理
の進行に応じて変更する操作機構を更に備えることを特徴とする請求項1又は請求項2に
記載の分離装置。

【請求項4】 前記操作機構は、分離処理の進行に応じて、前記試料の分離層に対して流
体を打ち込む位置を該分離層の周辺部から中心部に徐々に又は段階的に変更することを特

徴とする請求項 3 に記載の分離装置。

【請求項 5】 流体により試料を分離する分離方法であって、

内部に分離層を有する試料を前記分離層に直交する軸を中心として回転させながら、前記試料の前記分離層に向けて、圧力変動が目標圧力に対して $\pm 10\%$ 以内に抑えられた流体を噴射しながら、前記試料を前記分離層で分離することを特徴とする分離方法。

【請求項 6】 前記試料は、前記分離層の外側に、側面に対して窪んだ凹部を有することを特徴とする請求項 5 に記載の分離方法。

【請求項 7】 前記分離層は、陽極化成によって形成された層であることを特徴とする請求項 5 又は請求項 6 に記載の分離方法。

【請求項 8】 前記分離層は、イオン注入によって形成された層であることを特徴とする請求項 5 又は請求項 6 に記載の分離方法。